

インテリアを工夫して涼しく

今年も暑い夏がやってきました。扇風機や冷房が活躍しますが、インテリアのファブリック（布地等）の色や素材をちょっと替えるだけで、さらに快適に過ごせることをご存知ですか?今回は、夏を快適に過ごすためのインテリアの工夫を紹介します。

ファブリックは寒色系で

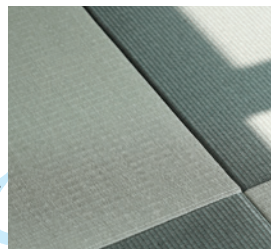
涼しさや静さを感じる青や緑、紫といった寒色系、クールなイメージのモノトーンなど、視覚から涼を取り入れる色は、実際に体感温度を2~3度下げる（※）効果があるといわれています。その涼しさを体感するには、寒色やモノトーンをカーテンやソファカバー、ベッドカバーなど、表面積が大きなファブリックに使うと有効です。寒色系だけでは部屋が淋しいと感じるときは、クッションやテーブルクロスなど、小振りのアイテムに赤やオレンジのさし色を。部屋が引き締まって見えます。

※参照：「色彩効用論～ガリアの色」より



素材選びも重要

直接肌に触れるシーツや枕カバーなどの寝具、ラグマットなどは、素材選びも重要です。麻や綿などの通気性や吸水性に優れた素材は肌に清涼感を与え、い草、竹、藤など、昔から日本で愛用されてきた天然素材は、ひんやりとした肌触りで夏の暑さを軽減してくれます。



音と香りも夏仕様

日本の夏といえば風鈴、その音色には、「1/f（エフ分の1）のゆらぎ（※）」があるとされていて、イライラや不快感を和らげるリラックス効果があるそうです。ただ、風鈴の音を雑音だと感じる人もいますので、近隣に迷惑がからないようにしましょう。また、夏の不快感をすっきりさせてくれるアロマオイルも人気です。ミントやレモングラス、ユーカリなど清涼感のある香りは気分を爽快にしてくれます。

※規則正しくはないが、ある法則性を持ち、自然界に普遍的に見られる現象（小川のせせらぎ、うちよせる波、炎のゆらめき、鳥のさえずりなど）



涼を感じるインテリア小物

部屋の小物も夏バージョンに。清涼感を演出するのにピッタリのアイテムは、何といてもガラス素材です。ガラス製の花器に季節の花を一輪さしただけでも、部屋の清涼感がぐっとアップします。また、ビー玉などのガラス製品をお気に入りの器に入れて、玄関やトイレ、窓際にさりげなく飾るのもオススメです。



バックナンバー

『237号透かして遮る「仕切り」アイテム』『285号エコな暑さ対策』『313号ブラダンで簡単窓断熱』もあわせてご覧ください。

まだまだあります **バックナンバー**。詳しくは「住まいの宝箱」HPの〈お困りキーワードでサイト内検索！ 〉で!

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>